

**「飯島雨水調整池整備事業」  
の公共事業事前評価調書(案)に対する市民の皆さまからのご意見の内容と  
ご意見に対する横浜市の考え方**

**○横浜市公共事業評価事前評価における市民意見**

募集期間：平成29年10月2日（月）～平成29年11月2日（木）

意見提出者数：1名

お寄せいただいたご意見と、ご意見に対する横浜市の見解を、次のとおりまとめました。  
今後の詳細な設計に対するご要望を趣旨とするご意見でしたので、事前評価調書は修正無しとし、確定しました。

**○お寄せいただいたご意見と横浜市の見解**

1名からお寄せいただいたご意見を、公共事業事前評価調書（案）の項目にあわせて分類（10件）し、本市の見解とあわせて整理いたしました。

なお、分類したご意見は、公共事業事前評価調書（案）の項目別に整理し、提出された順に、原則、全て原文のまま掲載しています。

No.	ご意見(10件)	ご意見に対する横浜市の見解
<b>(1)意見提案</b>		
1	概算事業費は30億円と一見高いですが、過去の事例を参考までに記述してはどうか。 一例として、戸塚区、川上幹線の費用と便益	概算事業費は、本市の下水道工事の実績等を踏まえて算出しています。 いただいたご意見は、参考にさせていただきます。
2	イメージでは、地上部は、児童が遊ぶグラウンドと、低木の植栽です(フェンスなし)。 街区公園?、運動公園?として、整備するのでしょうか? 公園として位置づけして、 飯島市民の森と、いたち川をつなぐ散歩道として整備してはどうか。 スポーツ広場、芝生広場にして、大災害時には、災害廃棄物置き場にするなど。 飯島の森、せせらぎ道、 ↓ 飯島雨水池公園(仮称)および散歩道、できれば、せせらぎ道の続き。 ↓ いたち川	事業内容におけるイメージ図は、雨水調整池を地下に整備し、工事完了後は上部利用が可能となることを表しています。 なお、上部利用の形態については、地元の方々やグラウンド利用者と調整して決めていきます。
3	①. 現状は第二調整池は高いフェンスで入れない。遊水地(池)なら、公園化できるのですが。 ②. 殺風景です。 一例として、コンテナを設置して、草花エリア、花壇をもうけてはどうか(可動式コンテナ)  便益の中に含まれているかもしれませんが、公園化はあまりコストはかからないと考えます。便益対コストが上がります。	飯島第二雨水調整池は、大雨時に雨水が流入し、池のような状態になるため、安全上の観点等により、フェンスを設置しています。 いただいたご意見は、参考にさせていただきます。
<b>(2)意見ではなく質問だったもの</b>		
4	現場を見ると、広いスペースの(既存)飯島第二雨水調整池があるが、こちらは何かしないのか? 第二雨水池で、処理、貯蔵しきれないので、新規にポンプを作るのか? 最初から、ポンプを含めての長期プランの一環なのか?	雨水の排水方法について、地盤の高い地域(高地区)は、河川へ自然排水を行い、地盤の低い地域(低地区)は自然排水が困難なため、ポンプで排水する必要があります。 飯島第二雨水調整池は、飯島町の高地区を対象とし、このたび整備する飯島雨水調整池は低地区を対象としており、目的や機能が異なる雨水調整池です。 また、貯留した雨水を排水するため、ポンプ施設を整備するものです。
5	浸水箇所が、「半径50mくらいの円」で表示して	概要図に示している浸水箇所には、住居があり、平

	あるが、この箇所は、住居などか？人命にかかわる床上浸水など生じるのか、？ 浸水 2mだから床上？それとも、資材置き場などで、人命は大丈夫？	成 26 年 10 月 6 日の台風 18 号では、特に地盤の低いところで約 2m の浸水深さを観測し、床上浸水が発生しています。
6	「栄区ハザードマップ、内水」では、2m もの浸水は表示されていないが、「ハザードマップ はあくまで、シミュレーションなので・・・」の解釈か？	内水ハザードマップは、近年、横浜市で大きな被害をもたらせた 1 時間に 76.5 ミリの降雨に対し、シミュレーションにより浸水が想定される区域と浸水深を示していますが、地盤（土地）の高さなど、精緻な地形まで反映できないことなどから、想定した浸水深と実降雨による浸水深と違いが生じることがあります。
7	現在、高速南線の工事中ですが、この工事が完了が前提の計画か？ 要は、「なぜ、飯島地区を今年（2017 年）事業化するかが、いまひとつ解らない。もっと早く着手できたのではないか？ 飯島地区は着手し易いと推測します。 ○土地が神奈川県だから、問題が少ない。 ○高速道路ができるので便利、 高速道路下の雨水配管が利用できる？。	雨水調整池の整備には、用地の確保が不可欠であり、当該用地の所有者である神奈川県との協議が整ったことなどから、このたび事業に着手するものです。 なお、横浜環状道路南線事業とは、関係していません。
<b>(3) 本事業以外の意見や質問だったもの</b>		
8	前述したように、俣野は水害で困る。(特に汚水) 戸塚駅近くも、内水が想定される。	ご指摘の俣野町については、関係部署に伝えます。また、戸塚駅周辺の浸水対策については検討を進めていきます。
9	現状 戸塚区も栄区も内水氾濫面積は広い。  課題 鶴見川流域など市北部はよく解らないが、あまり変わらないと推測する。  重要な質問 11 ヘクタールの改善に 30 億円かかるとして、床下浸水しない様になるまでコストはいくらかかるのか？ 何十年かかるのか？  意見 環境創造局、下水道で、対応する内水氾濫対策の長期的費用、計画を提示してほしい。 一例として、「水害面積」（定義、仮、雨量 60mm で床下浸水しない条件。道路冠水は仕方ないとし	現在、時間降雨量 50 ミリ、60 ミリといった整備水準で浸水対策を進めてきていますが、近年、整備水準を上回る降雨が頻発していることなどから、浸水被害が発生しており、現時点で総事業費等を算出することは困難な状況です。  いただいたご意見は、今後の浸水対策の参考とさせていただきます。

	<p>て)</p> <p>一例 2027 年（平成 39 年度：10 年後までに）1000 億円かけると、 水害面積は現在の Aヘクタールから Bヘクタールに削減（一例として 10%改善）（戸塚区及び栄区及び泉区）</p> <p>知りたい事 ○最も悪い所から（不幸の最小化）、またはコスト対効果（便益）の高い所から。対応事業化する。 俣野町、東俣野町の改善はいつになるのか、優先順位はが知りたい。</p> <p>震災延焼面積 震災時、延焼面積半減、死傷者半減の計画はあるのですから、水害面積を 10 年でいくらまで減らす。という計画が見たい。</p>	
10	<p>第二調整池について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビオトープを作ってほしい。（すぐにできる。）池や流れ、草花を。</li> <li>・日本に古来（江戸時代）からある草花を育てる。</li> <li>・一例として 秋の七草 ハギ、キキョウ、オミナエシなど</li> </ul>	<p>いただいたご意見は、参考にさせていただきます。</p>